

信州長野松代 金井山城跡ボルダー Ver.2.0

20241020 RCT/K

長野市松代にある金井山のハイキングコース脇には多くのボルダーがあり、以前から地元のボルダラーにより登られてきたが、その情報はというと、ネット上に金井山公園内のボルダーの簡単な紹介程度のものしか見当たらない。

金井山に登るには登山口から公園内の遊歩道を平和観音まで辿り、その先金井山城跡までは登山道となる。コース上には展望台や不動心、古墳や堀切、石垣や郭の他、多くのボルダリングの対象となる岩ころがあり、あまり展望が利くとは言えないコースではあるが変化があり飽きることはない。

金井山全体を俯瞰してみると、ボルダーエリアは平和観音辺りまでの「公園エリア」と金井山城跡周辺の「城跡エリア」に大きく2つに分けられることが確認できたが、「城跡エリア」についてはネット

上に全く情報がなかったのが意外にも面白そうなボルダーが沢山あることに驚かされた。

ボルダーの大きさは大小様々、岩質は溶結凝灰岩で概ねしっかりしているが脆いところもある。また、数は多いが下地の安定したボルダーは左程多いとは言えず、傾斜地にあるものが多いので、下地が不安定なボルダーのトライは危険なので、スポッターがいない場合は無理をしない方が良い。課題については、ハング系統は少なく、スラブから薄被りのフェイス系が多い。

アクセスとアプローチについては、公園エリアは松代柴地区の金井池を目指していく。駐車は池横のハイキングコース入口に数台可能だが、釣師が利用するようなので、スペースにゆとりがない時は旧金井山駅跡に駐車可能。アプローチは数分で展望台、さらに数分で平和観音に着く。

城跡エリアについては、東側の鳥打峠からの方が近いので、ハイキングを兼ねてでなければ峠からのアプローチの方が良い。入口は峠から少し南に下ったヘアピンカーブの位置で駐車スペースもある。

この情報を提供するにあたり、以前からの開拓者(不明)からは許可を得ていないが、最近はトライされた形跡が殆んどなく、苔も発達してきている。体調及び年齢的にも無理はできないので簡単な課題だけだが、前回に引き続き金井山城跡の南斜面エリアを追加でトライさせてもらったので、2版としてその記録を紹介することとした。

今後、地元のボルダラーに遭遇することがあったら、開拓状況やトポ(ネット情報では平成12年にボルダーマップ作成の予定ありとのこと)についてなど尋ねてみたい。もし開拓されている方で、この記録を見られていたら連絡いただけると幸いです。

<参考>

○ようこそ本庄庵へ http://honjo.gr.jp/climbing/area_guide/kanaiyamakouen.html

○家族で山遊び <http://www4.plala.or.jp/lime-stone/index.html>

○長野山城歩き 金井山城跡トレッキング <https://nagano-yamajiro.com/trekking/kanaiyama/>





《課題紹介》

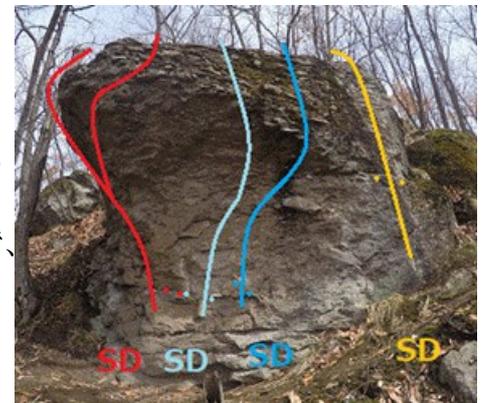
■郭エリア

●3の郭 A岩

上が被った岩で、一応 SD スタートでトライしたが、下部は易しい。ハング上はまだ苔だらけで、雨後などは苔が湿っているので注意したほうが良い。

さらに上部から落ちると斜面を転げ落ちる可能性があるので、スポッターがいると安心。

赤ラインの右はリップの穴を取ってから右上に抜ける。

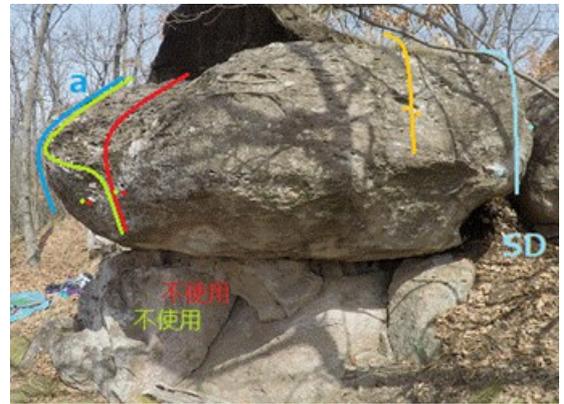
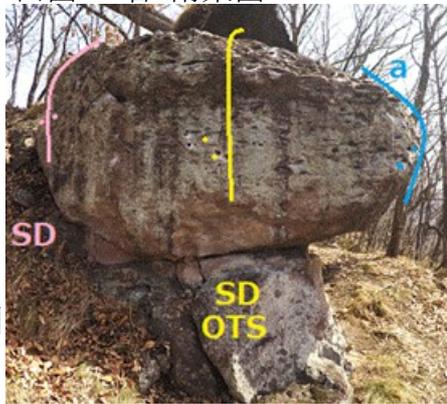


●2の郭 B岩 左:西面 右:南東面

石室はないが、石舞台の様な岩。

下が被っており、ホールドは良いがパワーフル。

南東面右側は、欲を言えばSDでスタートしたかったが引き付け保持できずSDは未解決。この岩は穴が多く、ライン取りを変えれば難しい課題も今後設定できそうだ。

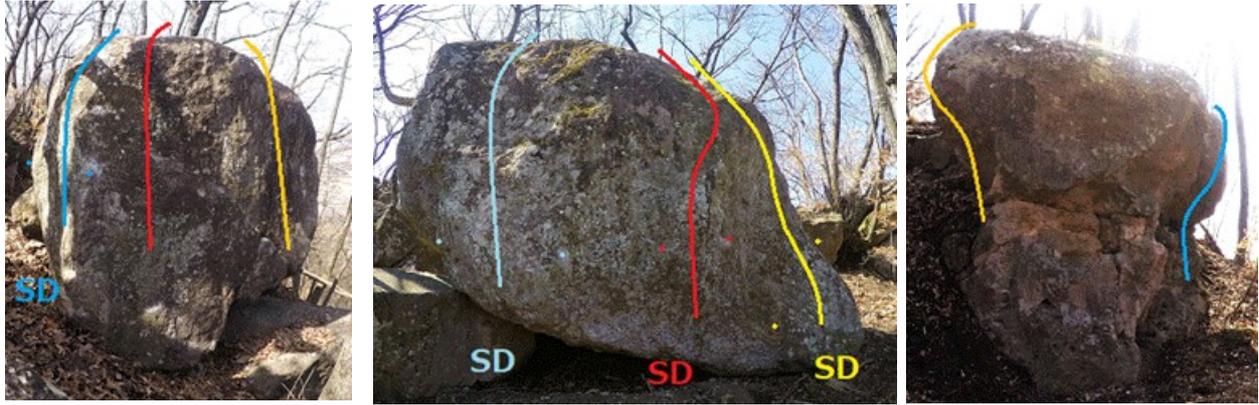


●2の郭 C岩

大福のような形の岩。上部の穴を使って登ったが、しっかりした足が無いので意外ときつい。SDトライは相当きつそう。



●2の郭 D岩&E岩 左:D岩東面 中央:D岩北面 右:E岩



D岩は最初から意外ときれいな岩で多分以前トライされた可能性あり。東面はスラブで微妙なバランスクライミング。北面は赤ラインと水色ラインが面白いが、上部はまだ苔が多い。

E岩は下部が非常に脆くトライに迷ったが、一応トライしてみた。やはりトライ毎にホールドが欠けたが、欠けながらも右側のハングと一番左のハングに課題を設定してみたが、お勧めできないボルダー。

●ピナクル・ロック&ピナクル・ロック下東の岩

トポ中の左下の岩:東の岩 右上の岩:ピナクル・ロック

郭の一番高い位置に、チョコンと乗っている小さな岩峰状の岩で、北面の2つ並んだ穴から上の方の穴にデッドするが、ちょっと遠い。



■東の尾根エリア

●F岩&G岩

左:F岩とG岩東のカンテ

右:G岩北面

本郭の直下にある岩で、特にG岩北面は下地がちょっと不安定。



●H岩&I岩 左:H岩 右:I岩

H岩はF岩の向かい側の大きな丸っこい岩。登山道側に2本ほど課題があるが、反対側は崖で危険なのでトライ不可。

青ラインがムーヴがあり面白いが落ちると登山道の岩と岩の隙間に滑落落ちるので、クラッシュパッドを上手く敷いた方が良い。

I岩はG岩の下の岩でフェイスに課題があるが、右下は斜面なので注意が必要。



●J岩&K岩 左:J岩 右:K岩

J岩はH岩の南東側の下にあるハイボール。青ラインは南面側。赤ラインは東面側のライン。下地があまり良くないので、落ちた時に転げ落ちないようにスポッターが必要。

赤ラインが面白い。

K岩は上に蓋状の岩が載っている顕著な穴がある背の低いボルダー。登山道のすぐ脇にあり、下地は安定している。

SDスタートでないと面白くないので、SDトライを試みるが、中央付近は良い足がなくて登れずはスタンドポジションでも未解決。

北側の斜面に脚立が転がっていたので、H岩下の岩の隙間に保管しておいた。



●L岩&M岩&N岩 左:L岩 中央:M岩 右:N岩

L岩は登山道の南側にある岩。

M岩は側にデッキブラシが置いてあり、確実にトライされているきれいなフェースのボルダー。上部で左の穴を使ったので少し左に寄ったが、身体が柔らかければ直上できるのではないかな。

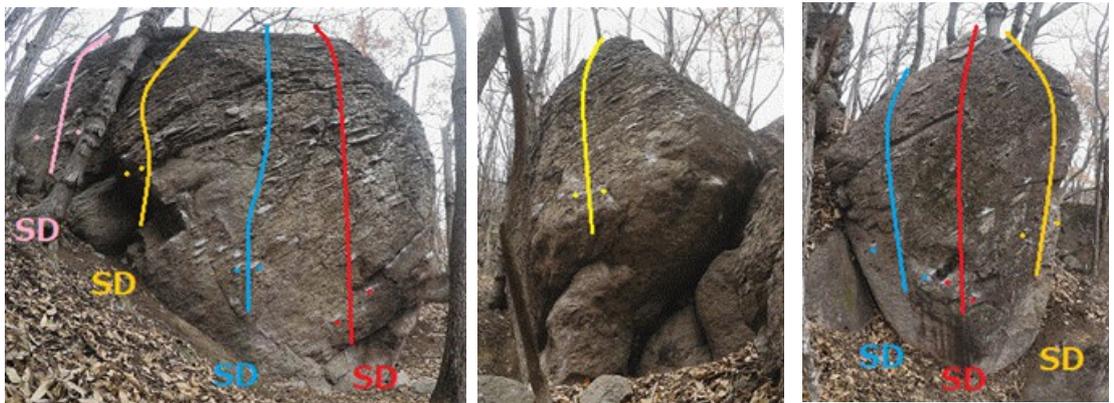
N岩も下地が良かったので確実にトライされているボルダー。SDからハング上のガバをとり、あとはマントリングで這い上がる。



●O岩&P岩 左:O岩南面 中央:O岩東面 右:P岩

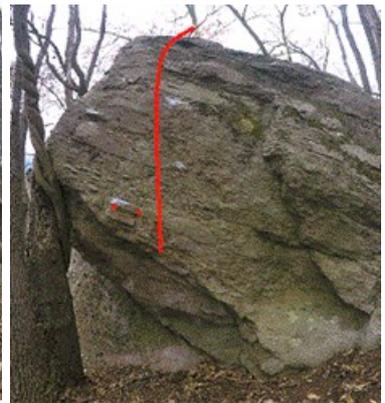
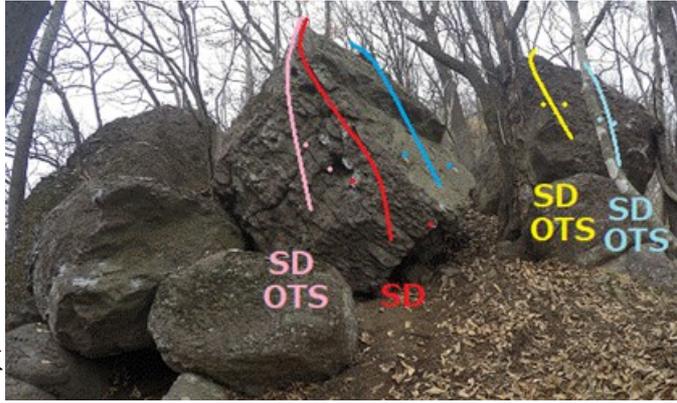
O岩はハイボールで、スタートをこなせば上部はガバが豊富で易しいが、高さがあるので上部はホールドの確認をしっかりとしたい。

P岩はO岩の下の岩で、易しいSD課題が3本ある。オレンジラインはフォール時注意。

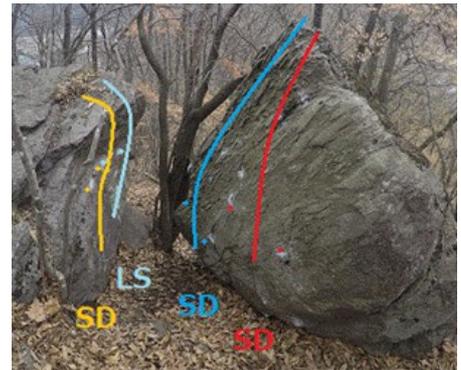


●Q岩(右側)&R岩(中央) 上左:Q岩とR岩の南面 上右:Q岩北面 下:Q岩とR岩西側

Q岩は登山道のすぐ脇にあり、周囲に易しい課題があるが、東側の黄色と水色ラインの課題は土台になっている岩の上からスタートするので注意が必要。



R岩も周囲に課題があり、ムーヴもあってそこそこ面白い。



●S岩&T岩 左:S岩 右:T岩

S岩はO岩の西側にある小さなボルダー。
T岩はO岩の南側少し下にあるボルダー。
SDスタートしたかったが難しく、少し上のホールドから腰を下げてスタート。

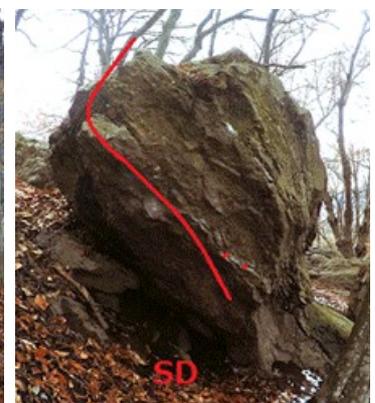
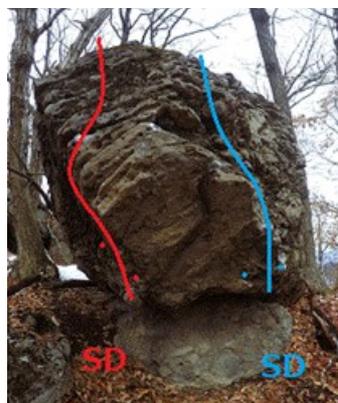


■公園と城跡間にある幾つかのボルダー

●U岩&V1岩 左:U岩 右:V岩

U岩は、はっきり覚えていないが、「4の郭」下の堀切西側にあったような気がする。
課題はハングのガバでパワフルだが易しい。

V岩は、さらに下って、幾つかの小さなボルダーが登山道沿いに並んでいる場所の北側にあるハングした岩。課題はハングトップのホールドを取ってからハングを越える。



●V2岩&V3岩&V4岩 山頂側から、右V2、中央V3、左V4



3つの岩とも易しく、特に面白いというわけではない上に、アプローチも遠いのでわざわざ行くほどのものではない。

V2岩はV1岩の南側にあり、易しいフェイスのSD課題。

V3岩は易しいハング越え。

V4岩はスタートでちょっとムーヴあり。

■南斜面エリア

令和6年の秋に新たにトライしたエリアで南斜面に散在するボルダー。危険というほどではないが落ちると斜面を少し転がる可能性があるのでスポッターがいると安心である。アプローチは東尾根エリアの一番下の岩から斜面の踏み跡を登って行くがボルダー近くまで行くと不明瞭になる。最上部のイ岩とロ岩は2郭から降りた方が分かりやすく近い。

●イ岩&ロ岩 左:イ岩 右:ロ岩

イ岩は、苔の多い岩でカンテ部分に1本易しい課題がある。

ロ岩は3m程の高さで、岩上に石剣が立てられている。岩面には不動明王(?)が彫られ、〇〇七神と刻字されており、近くに石祠もあることから時代は不明だが修験道の地であった可能性あり。課題は左のカンテ部分に1本あるのみ。



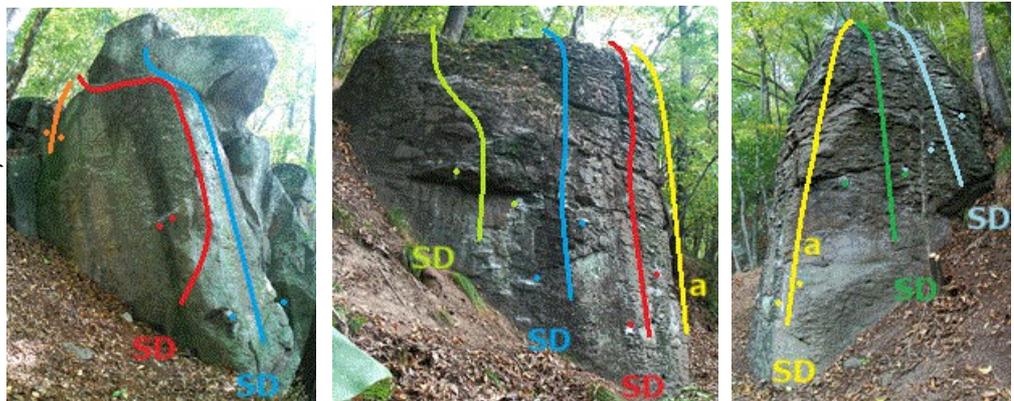
●ハ岩

1本指の入る穴があるが良いフットホールドが無く、現在課題はない。

●ニ岩&ホ岩 左:ニ岩 中央:ホ岩南面 右:ホ岩東面

ニ岩は、カンテ状の岩で、赤ラインは青ラインのクラックの縁は使わずバンドに出たらハンドトラバースで左まで行く。

ホ岩は、太い蔦が這っていた岩。ホールドが沢山あり課題が多いが掃除不足で持ちにくい。



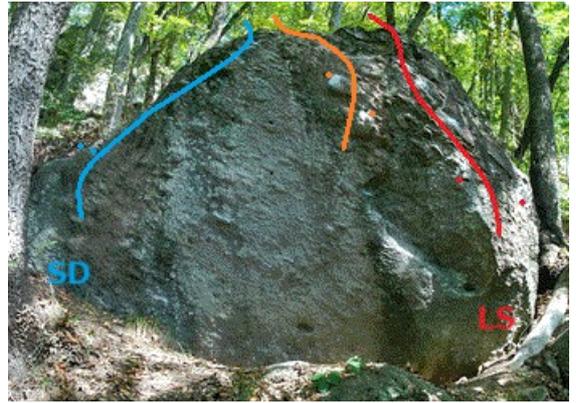
●へ岩

正面のフェイスに良いホールドがあれば面白い岩なのだが残念。

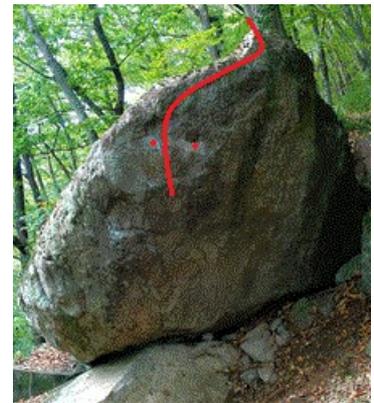
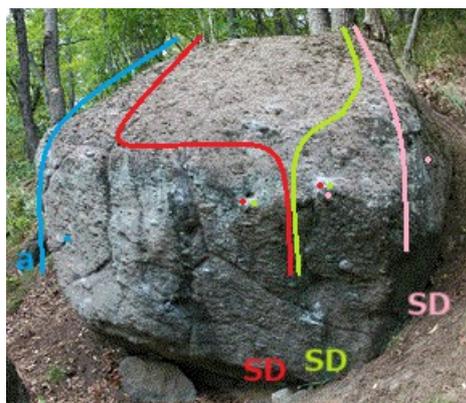
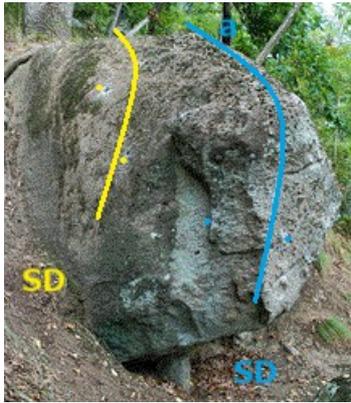
赤ラインは、右手は大きな浅い穴、左はつまむようなピンチホールドでスタートし左上する。

オレンジラインは、左手ガバ、右手1本指の穴でスタート。赤ラインに入らず左上して最後は大きな浅い穴ホールドから抜ける。

青ラインは、リップ上の穴ホールドからスタート。最後はオレンジラインの左辺りに抜ける。



●ト岩&チ岩 左:ト岩西面 中央:ト岩南面 右:チ岩



ト岩は、上が苔だらけで掃除をしたがあまり良いホールドが出てこなかったが、全体的にはホールドが多く面白い。今後、難しい課題が設定できる可能性がある。

赤ラインは、左手リップの浅い穴、右手リップのあまいピンチでスタートし、上のカチホールドをとったら左にトラヴァースして、最後は青ラインの大きな穴は使わず小さな穴を使って抜ける。

チ岩は、崩落防止のためのコンクリートの土台の上にある片側がハングした岩。穴で身体を上げてリップにデッドするが易しい。